

第5回 食の安全について 組合員コミュニケーション企画 『みんなで話そう! 考えよう! コープの安全・安心のコト』開催 レポート

開催日時
3月 4日(火) 10:00~13:30
生協ホール(堺東) 31名参加
3月14日(金) 10:00~13:30
ノバティホール(河内長野) 20名参加



ごあいさつ
食の安全のとりくみに
組合員の声を反映する
ため、日頃思っている
ことを率直にお聞かせ
ください。
勝山専務理事



目的 食品安全プログラムのコミュニケーション企画として、今年度の食の安全のとりくみ・対応報告と組合員の不安や生協への期待について率直な意見交換を行います。
概要 (1) 報告I: 2013年度食の安全のとりくみ (2) 報告II: 組合員の声と対応 (3) 少人数にわかれて分散会 (4) グループ発表とまとめの答弁

この一年、食の安全・安心への期待に応えるためどんなとりくみをしてきたのか報告がありました!

2013年度「食の安全のとりくみ」

「食品安全プログラム」とは...

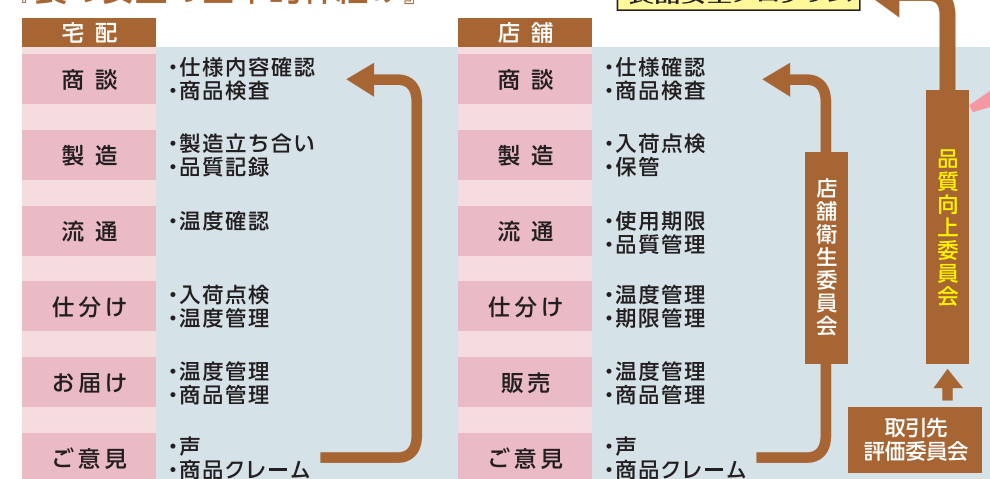
2008年中国産手作り餃子事件の反省から、総合的な食品安全対策として策定しました。

品質管理(衛生、品温管理) + 安全管理(意図的な犯罪防止)

科学的検証(商品検査) + 社会的検証(産地・工場点検や記録の確認)

農場・工場から流通・保管・お届け・販売、その後の改善活動まで、すべての工程を管理する仕組みです。

『食の安全の基本的枠組み』



食の安全に関する
とりくみの現状を
報告しました。
品質管理部
今井部長



『品質向上委員会ってなあに?』

専務理事が宅配・店舗事業にかかわる責任者、政策担当を招集して毎月開催しています。各部署の商品・サービスにかかわる品質目標の進捗や、是正状況について報告、確認しています。また、食品安全プログラムの改定や、食の安全に関するとりくみ・対応について協議します。

声

○初めて聞いたけど、安全に関する取り組みはきちんとされている。
○安全のために設置されている委員会やその内容について知れてよかった。



具体的なとりくみと参加者の声

コープ・ラボでの商品検査



年間27,800件の検査を実施しました。

[品質検査]		[ディフェンス検査]	
微生物	残留農薬	遺伝子組換え	遺伝子を検出する蓄積判別検査
動物用医薬品	アレルギー物質	遺伝子組換え	微量元素
放射性物質	重金属	微量元素	農薬検査

声

○あらゆる面から検査してくれているとわかって安心しました。



商品事故・事件対応

・2013年10月
安全性未審査の遺伝子組換えパパイア使用
・2013年12月
アクリフーズ農薬混入事件・自主回収

声

○アクリフーズの件は、利用していない人にとっても不安だったので、お知らせは早くしてほしい。
○何かあった時にお知らせしてくれるのは、メンバーなので安心できる。

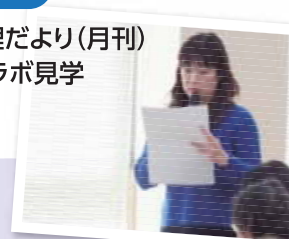


情報発信

・品質管理だより(月刊)
・コープ・ラボ見学

声

○商品のSOS事例は「へえ~そうだったの~」と思えることがよく載っている。
○昨年見学して、素晴らしい設備を使って日々検査されているのを知って驚きました。



店舗の衛生管理

店内加工場、食品表示の点検を定期的に実施しました。

声

○お店に行くと商品が多く不安だったが、今日の報告を聞いて安心した。



その他こんな声も寄せられました

○食の安全についてきちんと管理されていることをもっと組合員に知ってもらう工夫を!
○カタログのスマイルマークは意味がわからなかった。わかりやすく案内してほしい。
○加入して25年。昔は子どもの食が、今は孫のことが心配。

2013年 組合員の声と対応

声

産地変更(代替品お届け)への不満
・産地で選んでいるのに、代替品はお届け不要
・東日本の放射能汚染への不安

対応

農産企画の整理、利用者への連絡や代替品お届け希望の確認などの対応を検討します。

声

添加物表記がなくなると不便
・発色剤入りの商品は選びたくない
・使用添加物はカタログに表示してほしい

対応

マークの説明や見やすさなど、案内の見直しを検討します。



声の年代別傾向や特徴的な声と対応について報告しました。
品質管理部
信原リーダー



組合員からのQ&A

Q. 異物が入っていた
→ その後どこまで改善対応されるのか? 知りたい。

A. 品質管理としては、取引先からの改善報告書の確認後、同商品で再度同様のお申し出が発生していないかを監視することで、対策が実施されているかの確認としています。また、取引先へは、製造メーカーへの指導と監視を要請し、再発の防止をしています。年度の終わりには、取引先に対して、お申し出事故件数を点数化し、その数値を評価の一つに入れ込んで「取引先評価」を実施し、商品事故の防止に取り組んでいます。年間4,000件前後のお申し出があることから、このような仕組みで確認としています。

Q. 鶏肉でも中国・ブラジル産もあり、輸入品の安全性に不安がある。

A. 外国産がすべて品質安全上問題があるとは考えていません。原料品質については、日本国内の基準に合致しているものを取り扱っています。検査についても公的機関やメーカー自身で厳密に行い、問題があれば、商品の供給を取りやめるなどの対応を行っています。国内産でも外国産でも、リスクを減らすために、製造メーカーや取引先とも連携をして、生協独自に食品安全プログラムを確立して運用しています。

